

## 不妊と向き合う人々と関わって

恵泉女学園大学  
人文学部教授  
大日向雅美

---

---

---

---

---

---

---

## 1 不妊カウンセリングをするに至った 経緯～自己紹介を兼ねて～

### 専門

発達心理学(特に家族・親子)

主な研究テーマ

日本社会における母性観の形成発達過程

- 母となった女性の苦悩に耳を傾けて30余年

↓  
(母性愛神話の弊害)

- 母とならない女性の苦悩

---

---

---

---

---

---

---

## <母性愛神話とその弊害>

### 母性愛神話の内容

- 出産・育児は女性の生来的適性
- 母の愛情に優るものはない
- 子育てイコール人間的成長

### 影響

- 母となった女性  
育児負担の増大  
育児ストレス・不安  
聖母像のおごり
- 母とならない女性  
偏見や抑圧
- 女性どうしの対立

---

---

---

---

---

---

---

### <不妊と向き合う人々との出会い>

- ヒヤリング調査の開始(1989年～)  
約300人の声を基に不妊問題について出版  
『母性は女の勲章ですか?』(1992年)
- 越田光伸医師(大阪市・越田クリニック院長)との  
出会い  
不妊カウンセリングの開始(1996年～現在)

---

---

---

---

---

---

---

---

### <カウンセリング開始にあたっての医師 からの依頼と合意>

- 不妊治療は医師だけではできない  
心のケアと医療行為が車の両輪のように
- 一人一人が  
より良い形で不妊治療に向き合えるように  
より良い形で不妊治療を終えることができるよ  
うに
- 「チーム医療をめざして」

---

---

---

---

---

---

---

---

### 2 不妊との向き合い方の変化

1. ショック・受容拒否  
まさか私が?!?!(ショック)  
やはり、でもー(受容拒否)
2. 不安・感い葛藤  
周囲からの外圧に苦悩  
自身の心の揺れ  
自責・夫や周囲への怒り  
治療への不安や疑問

---

---

---

---

---

---

---

---

3. 不妊治療に終止符～新たな課題との出会い

①妊娠・出産・育児の始まり

②子どもを持たない人生へ

---

---

---

---

---

---

---

---

3 何に苦悩しているのか  
～従来からの苦悩と新たな苦悩～

<従来からの苦悩>

- 主として外圧
  - 周囲の無理解と干渉
  - 固定的な家族観・子育て観・女性観
- 主として内面的な苦悩
  - 産みたい・産めないが故に産みたい要求の強まり
  - 女性としての欠損感
  - 妻としての苦悩

---

---

---

---

---

---

---

---

<新しいタイプの苦悩>生殖補助医療技術の発展に伴って

- 子供観の変化と産が非でも産みたい欲求の強まり
- 周囲の期待はさらに過剰に
- 人工的に産むことへのためらい
- 先の見えない不透明さ・努力が報われない
- 身体的・経済的負担の大きさ
- 治療にだけ専念する生活の制約感
- 男性不妊の悩みの深さ

---

---

---

---

---

---

---

---